

第123回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成23年2月4日(金) 13:00～14:30

場所：東芝府中事業所 13号館（ゲストセンター）203会議室

出席者：委員長 脇若（信州大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 岩松（鉄道総研），中川（東京都市大），藤田（鉄道総研，中村委員代理），
花岡（東洋電機製造），樋口（長崎大），平田（大阪大），増澤（茨城大），
森下（東芝），矢野（産総研），渡邊（IEEJ）

幹事 水野（信州大）

幹事補佐 矢島（SMC）（記）

オブザーバ伊東（東芝），打田（鈴鹿高専），田中（ニコン），丸山（東芝）

123-

提出資料

- 121-1 第122回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（鳥居幹事補佐）
- 121-2 平成22年度リニアドライブ技術委員会活動報告（脇若委員長）
- 121-3 平成23年度（H23年4月～H24年3月）活動計画（3次案）（脇若委員長）
- 121-4 平成23年電気学会産業応用部門大会シンポジウムテーマ提案のお願い（脇若委員長）
- 121-5 平成23年電気学会産業応用部門大会オーガナイズドセッション提案のお願い（脇若委員長）
- 121-6 電気工学ハンドブック第7版 編構成・割当ページ数検討結果一覧表（脇若委員長）
- 121-7 懇親会報告結果（矢野委員）
- 121-8 2010年12月半導体電力変換・リニアドライブ・モータードライブ合同研究会開催報告（森下委員）
- 121-9 リニアドライブ研究会（渡邊委員）
- 121-10 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会 解散報告書案（岡本委員）
- 121-11 医用アクチュエーション技術システム化に関する協同研究委員会（案）設置趣意書（岡本委員）
- 121-12 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会(ECD)活動報告（岡本委員）
- 121-13 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会（MLV）活動報告（森下委員）
- 121-14 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 121-15 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会（MEL）活動報告（渡邊委員）
- 121-16 第7回 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会 議事録（岡本委員）
- 121-17 第13回 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会 議事録（森下委員）
- 121-18 第14回 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会 議事録（森下委員）
- 121-19 第10回 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会 議事録（矢野委員）

議事

1. 議事録確認

前回（第122回）議事録は、メール審議とし、次回提出することとなった。

2. 報告事項

- 3.1 資料123-2を基に、脇若委員長から本年度LD技術委員会の活動報告が行われた。
- 3.2 北野副委員長から、論文発表A賞がLD研究会から3件あると説明された。間に合えば、次回のLD技術委員会で表彰式を行う予定。
- 3.3 資料123-6を基に、脇若委員長から2012年出版予定の電気工学ハンドブック第7版について、内容、執筆者について説明があった。医用は載せるか？という質問に対し、脇若委員長から、実用化されたものだけと回答があった。
- 3.4 資料123-7を基に、矢野委員から、懇親会の報告書の例が説明された。報告方法[？]について、電気学会古^正に確認し、進める。
- 3.5 資料123-8を基に、森下委員から、H22年12月に開催されたLD研究会について、報告があった。
- 3.6 資料123-9を基に、渡邊委員から、H22年2月に開催されるLD研究会について、案内があった。

正

4. 審議事項

- 4.1 脇若委員長から 2011 年度の LD 技術委員会の開催予定日が説明され、承認された。
- 4.2 資料 123-3 を基に、脇若委員長から平成 23 年度 LD 技術委員会の活動計画（3 次案）について説明がされ、承認された。併せて、以下も確認された。
- ・見学会に学生を参加させてもよいか？という質問に対し、脇若委員長から、積極的に参加してもらったほうが良い（ただし事前に名簿を提出する）と回答
 - ・MLV で H23 年 12 月に技術報告書が発刊するので、H24 年 1 月にフォーラムを行う
- 4.3 資料 123-4, 5 を基に、脇若委員長から H23 年 9 月に沖縄で開催される産業応用全国大会のシンポジウムについて説明があり、MLV が行うことになった。
- 4.4 資料 123-10 を基に、ECD の解散報告書（案）が提出され、確認された。用語などの文言を修正のうえ、承認された。
- 脇若委員長から、運営委員会から成果報告としてシンポジウムの内容で技術報告書を作成して欲しいと依頼されていると説明があった。増澤委員から 2, 3 回の委員会で技術報告書を作成しており、今回は辞退したいと回答があった。脇若委員長から、シンポジウム開催でよくなるように上部委員会に諮ることになった。上部委員会から、技術報告書を作成するように強く言われたら、再度検討する。
- 4.4 資料 123-11 を基に、次期 ECD の設置趣意書（案）が提出され、内容、文言ともに承認された。脇若委員長から、電気よりの委員が少ないとの指摘があり、増澤委員から、岡本委員長もそれを心配している旨の回答があった。脇若委員長から、協力できそうな人を推薦することになった。
- 脇若委員長から、次期の委員会の報告形態を技術報告書にできないか、検討して欲しいと依頼があった。

5. 各調査専門委員会活動報告

資料 123-12～123-19 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

6. 工場見学

技術委員会の後、下記のように工場見学会が行われた。

- ・東芝府中事業所見学会 14：45～17：00
 - エレベータ研究等
 - 機関車製造ライン
 - 鉄道用主変換装置製造ライン
 - 鉄道用モータ
 - 車両情報システム

以上